

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
M a y

No. 158

5



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 5

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC 活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策のための取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉出荷販売推進（入札の実施）
- きのこ種菌当用推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売（周年）
- 共計チンゲンサイ販売（周年）
- 共計味なら販売（周年）
- 共計ふき販売（5月末日迄）
- 共計ブリックスナイン販売（6月末日迄）
- 共計県統一規格きゅうり販売（7月末日迄）

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- ハウス更新用資材戸別推進
- ネボン暖房機第1期予約推進
- 果樹袋当用推進（梨・りんご等）
- 夏用出荷資材予約・当用推進（枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草等）
- 夏秋蒔用種子推進
- AKライナー・ノンステーブル段ボールへの切替推進

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
 - 5月1日(金)～6日(水) GW菜園フェア
 - 5月9日(土)～10日(日) 母の日フェア
 - ☆愛菜館
 - 5月8日(金)～10日(日) 母の日フェア
 - 5月8日(金)・18(月)・28(木) 8の日お米フェア
 - 5月6・13・20・27(水) 肉特売日

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 水稲肥料農業推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン（9月末日迄）

生活部

生活課

- 太陽光発電推進（周年）
- Aコープ新茶推進（6月まで）
- アンデスメロン推進（5月中旬～6月中旬）
- 食べ頃仕込み味噌キャンペーン（5～6月）

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進
- 生花利用拡大運動（周年）

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
- カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進（周年）

自動車燃料部

石油課

- 平成27年春期オイルキャンペーン(平成27年2月～5月)
- 平成27年春期タイヤキャンペーン(平成27年3月～5月)

ガス課

- 平成27年度ガス器具特別推進
- 平成27年度第一回クミアイガス器具推進



洋ラン植替え講習会
(4.10 花木流通センター)



なす・きゅうり・トマトの定植・仕立て方講習会
(4.11・12 花木流通センター)

■大切な洋ランを きれいに維持するために

4月10日(金)、花木流通センター主催による「洋ラン植替え講習会」が開催され、約50名が参加しました。当日は、有機質肥料の製造販売を行う(株)東商の佐藤氏を講師に迎え、シンビジウム・カトレア・コショウランといった各種洋ランの栽培・植替え方法について、実物の洋ランや肥料を用いながら分かりやすい説明が行われました。また、希望者には佐藤氏による植替え代行も行われ、洋ランを持ち込んだ参加者から喜ばれていました。

■夏野菜の育て方を学ぶ

4月11日(土)・12日(日)、花木流通センターにおいて「なす・きゅうり・トマトの定植・仕立て方講習会」が開催され、2日間で約100名が参加しました。当日は、野菜苗のスペシャリストである、JAはぐくみ国府果菜苗組合の生産者、高橋氏、後閑氏を各日講師に迎え、定植の手順やコツについて講義や実演が行われました。花木流通センターでは、このような講習会を参加費無料で定期的開催しており、栽培に関する技術を提供しています。



JA 佐波伊勢崎たまむら支店竣工式
(4.21 JA 佐波伊勢崎たまむら支店)



平成27年度JA-LPガス取扱強化研修会
(4.22 ガス課)

■多機能集約型の新支店が完成

4月21日(火)、「JA 佐波伊勢崎たまむら支店竣工式」が執り行われ、計画設計・施工管理を務めた当県本部も出席しました。児島組合長は、「複合型の多目的施設として、地域の皆様に愛される店舗を目指します。」と竣工の挨拶を述べられました。新支店は、金融・共済機能の他に、直売所・コンビニエンスストア・パン工房・調理施設・FMラジオ放送局といった様々な機能を集約していることが特徴で、地域のシンボルとして、幅広い層からの利用が期待されます。

■更なる取扱強化に向けて

4月22日(水)、ガス課主催による「平成27年度JA-LPガス取扱強化研修会」が開催され、14JA 17名が参加しました。研修会では、平成26年度LPガス・ガス機器取扱実績及び保安業務実施状況の報告、また、平成27年度LPガス・ガス機器取扱計画及び保安業務対策指針・実施計画についての説明が行われ、参加者は今年度計画達成へ向けた取り組みと同時に、消費者保安を促進するための対策について学びました。



トレサビ(生産履歴記帳支援)システム基本操作研修会
(4.24. JAビル)



平成27年産米の生産・集荷・販売方針並びに出荷契約
及び大豆出荷契約、平成28年産麦の出荷契約推進会議
(4.24 JAビル)

■実践的な研修で業務に活かす

4月24日(金)、営農総合支援センター主催による「トレサビ(生産履歴記帳支援)システム基本操作研修会」が開催され、10JA22名が参加しました。研修会では、記帳シートの作成から読込・判定確認までの端末操作について、実機を使った実践的な研修が行われました。同システムによる農薬情報の県内一元管理を行うことで、農薬情報更新作業の省力化や、農薬の適正使用基準の迅速な判定等が可能になり、食の安全・安心確保に向けた取り組みがより一層図られます。

■具体的な事務手続きを説明

4月24日(金)、米麦特産課主催による「平成27年産米の生産・集荷・販売方針並びに出荷契約及び大豆出荷契約、平成28年産麦の出荷契約推進会議」が行われ、各JA担当者等約60名が出席しました。会議では、米の生産・出荷・販売方針に関する説明や、米・麦・大豆の出荷契約等に関わるスケジュールと提出書類の確認、具体的な事務手続きについての説明が行われました。



JA佐波伊勢崎たまむら支店オープニングセレモニー
(4.27 JA佐波伊勢崎たまむら支店)



グリーンカーテン講習会
(4.29 花木流通センター)

■県内初 コンビニと一体となった直売所がオープン

4月27日(月)、「JA佐波伊勢崎たまむら支店オープニングセレモニー」が執り行われ、併設している直売所「からか〜ぜたまむら店」も営業を開始しました。全農の生活事業の一つとして新支店の開設と共に誕生した同直売所は、パン工房・ヤマザキショップ(Yショップ)を備えた、県内初の支店一体型店舗です。ワンストップ(一か所)でのサービス提供により、市民生活の利便性の向上を目指します。

■緑のカーテンで夏の日差し避けとエコ節電

4月29日(水)、花木流通センター主催の「グリーンカーテン講習会」が開催されました。グリーンカーテンとは、アサガオ、ヘチマ、ゴーヤ、キュウリ等のつる性の植物を育てて作る自然のカーテンのことで、遮光効果に加え周囲の温度を下げる効果があります。当日は、植物の育て方のコツや、資材についての説明が実演を交えて行われ、参加者は質問をしながら熱心に受講していました。

今年も盛況! コープぐんま収穫体験ツアー

～ 4.4 邑楽館林 ～

4月4日(土)、当県本部は、JA邑楽館林・JA全農青果センター(株)東京センター・コープぐんま・コープネット事業連合との共催で組合員を対象とした「コープぐんま収穫体験ツアー」を開催し、18組46名が参加しました。ツアーは、ミートセンターの見学からスタート。参加者はセンター内の説明を受けた後、揚げたてのから揚げの試食をしました。続いて、JA邑楽館林本所へと移動し、ご当地アイドルのMenkoiガールズ・サラダによる書道パフォーマンスを鑑賞しました。昼食には、邑楽館林管内の米・野菜を使用したお

弁当や、ブリックスナイン(高糖度トマト)、アロマレッドニンジンジュース等が振る舞われました。午後はいよいよ収穫体験。きゅうりの圃場では、両手いっぱいのかきゅうりを収穫し、子供たちは大満足の表情でした。続くいちごの収穫では、収穫したいちごが食べ放題とあって、数種類の品種を食べ比べながら、甘くて美味しいいちごを十分に堪能しました。そして、ツアーの最終行程である農産物直売所ぼんぼこでは、バックヤード見学と買い物を楽しみました。産地と消費者が交流を図ることができた有意義な1日となりました。



▲ 昼食会の様子



▲ 親子で楽しく収穫体験



▲ Menkoiガールズ・サラダのメンバーと一緒に

「鍋っ娘」で野菜をもっと美味しく! JA邑楽館林 西邑楽JAまつり

～ 4.18 西邑楽あぐり資材館特設会場 ～

4月18日(土)、西邑楽あぐり資材館特設会場において「JA邑楽館林 西邑楽JAまつり」が開催されました。会場ではJAオリジナル商品の鍋料理つゆの素「鍋っ娘」の発売記念イベントが行われ、当県本部を含む関係団体が出席しました。「鍋っ娘」はJA邑楽館林が毎年農業体験を提供している、東京都内の専門学生と共同開発し商品化されたものです。当日は、Menkoiガールズ・サラダによるパフォーマンスや試食でPRし、会場は大いに盛り上がりました。商品は、JA邑楽館林管内の農産物直売所ぼんぼこ、ふれあい食彩館、ミートセンターで販売しています。当県本部ではこのようなイベントを通し、様々な観点から野菜の消費拡大に努めていきます。

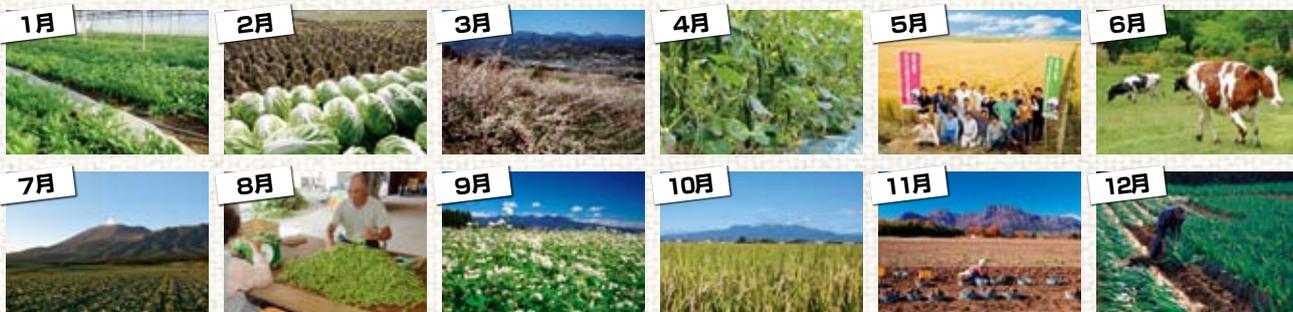


▲ 会場の様子

2016年 JA全農ぐんま オリジナルカレンダー用写真募集!



▼ 2015年版カレンダー写真見本 ▼



採用された方には、1万円分のJA-SSプリペイドカードプレゼント!

昨年は2015年のオリジナルカレンダー用の写真にご応募をいただきまして誠にありがとうございました。今年も2016年版カレンダーの作成にあたり、写真を募集いたします。なお、採用された作品を提供してくださった方には、賞品として1万円のJA-SSプリペイドカードを進呈いたします。奮ってのご応募をお待ちしております。

カレンダー用写真応募要項



①募集写真

テーマ：農業に関連した風景
(圃場・収穫・祭事等)
※群馬県内で撮影された未発表作品に限ります。
応募点数に制限はありません。

②応募期限

平成27年8月14日(金) 必着

③応募方法

プリントアウトされた写真またはフィルム・データ等を提出先に郵送またはEメールにて送付してください。その際、写真の撮影場所・撮影年月と応募いただいた方の氏名、住所、電話番号をご記入ください。

(規格)

- ・フィルムカメラ
6cm×4.5cm以上のポジフィルム(リバーサル)
- ・デジタルカメラ
1000万画素以上
(2660ピクセル×3760ピクセル以上)

④応募上の注意

(1)プリントアウトされた写真の場合、選考後にフィルム・データの提出を別途依頼することがあります。

(2)応募作品は返却いたしませんので、予めご了承願います。

(3)採用作品の優先使用権は全農群馬県本部に帰属いたします。ただし、著作権は応募者のものとなります。

(4)応募作品の被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。

(5)応募いただいた方の個人情報は、採用の通知やフィルム・データの提出依頼、賞金を配布する場合にのみ使用させていただきますのでご了承願います。

(6)応募作品は、県本部通信等でご紹介させていただきますので、ご了承願います。

(7)採用作品については、内定者に後日通知いたします。

(8)応募作品は27年度以降のカレンダーに採用されることがあります。その場合、賞品は採用年度に進呈いたします。

⑤お問い合わせ・提出先

〒379-2143 群馬県前橋市亀里町1310
JA全農ぐんま 管理部 企画開発課
「カレンダー写真」係
Tel:027-220-2223 Fax:027-220-2229
E-mail:info-gunma@gm.zennoh.or.jp

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

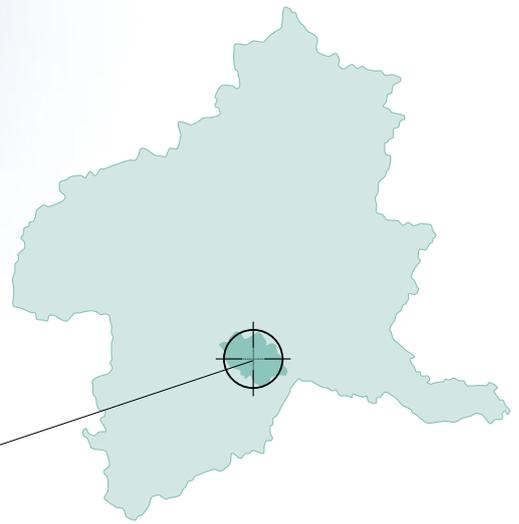
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
川場幼稚園交通安全教室/JA共済連群馬	※ 5月31日(日)	AM 8:00~8:30
大地の恵み あがつまの味/JAあがつま	6月1日(月)	PM 9:00~9:30
	※ 6月7日(日)	AM 8:00~8:30



山部 朱里アナ

農業 チャレンジ

JAたかさき



何があっても自己責任 それこそが農業の醍醐味

JAたかさき管内 内海 智さん



内海 智
(うつみ・さとし) さん
1975年生まれ、39歳。

季節ごとの栽培品目

春 : チンゲンサイ・
ブロッコリー・玉ねぎ
夏 : 枝豆
秋冬 : チンゲンサイ・
ブロッコリー

趣味 : スノーボード

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JAたかさき管内で、チンゲンサイ・玉ねぎ・枝豆・ブロッコリーの生産を行っている内海さんです。今年で就農6年目という内海さんの就農のきっかけを伺うと、「以前は別の仕事をしていたのですが、妻の実家が農業を営んでいたため、収穫シーズンになると手伝いに来ていました。その中で、全て自己責任で仕事ができる農業の魅力に惹かれ、本格的にやってみたいと思うようになり、妻の実家で始めることを決意しました。もともと外仕事が好きだったので、農業には向いていたと思います。」と話してくれました。当時は奥様も別の仕事をしていたそうですが、内海さんの熱い思いに押され、一緒に就農することになったそうです。「無理を言って巻き込んだという感じですかね(笑)。」と当時を振り返ります。

失敗した経験を活かす

2年間ほどは、奥様のご両親にノウハウを教わりながら一緒に取り組んでいましたが、3年目からは2人だけで栽培・出荷をするようになったそうです。始めた当初はなかなか思うようにいかず苦労したといいます。「玉ねぎの芽が出なかったり、芽が出ても台風や病気、虫の被害に遭ってしまったり、当初は失敗の連続で

した。その経験から、毎年失敗した経緯や注意すべき点、種の良し悪しや作物の栽培量などを詳細に記録しておくことにしました。そうすることで、翌年にどんな対策を講じるべきかわかるようになり、失敗も減りました。」と話してくれました。より良い物を作りたいという強い思いで仕事に励む内海さん、栽培技術向上のために努力を惜しみません。

新しいことへの挑戦

そんな内海さんに今後の展望を伺うと、「現在は年間を通して数種類の作物を生産しています。今後は、もっと規模を拡大していきたいと考えているので、より効率よく生産ができる方法を模索中です。まだまだ試行錯誤の毎日ですが、農業は失敗も成功も自分次第で、結果がわかりやすいのでやりがいがあります。」と話してくれました。また、3人のお子さんを持つ良き父親でもある内海さん、二人三脚で取り組む奥様に対しては、「やはり農業は一人ではできないので一緒にやってくれることに感謝しています。妻と自分お互いにずっと元気に動けるよう、健康には人一倍気を付けながら頑張りたいと思います。」と想いを聞かせてくれました。最善を迫及し、常に前向きに取り組む姿に、今後一層の活躍が期待されます。



1



2



3



4

1 今(4月)はチンゲンサイの収穫時期。ひとつひとつ丁寧に作業をしていきます。

2 圃場の様子。

3 収穫されたばかりの新鮮なチンゲンサイ。

4 播種後約80日の様子。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JA佐波伊勢崎
あかぼり営農センター 生産資材係

久保田 清史さん

くぼた・きよし (33歳)

趣味.....サッカー
好きな食べ物.....カレー・ラーメン
休日の過ごし方.....ドライブ・愛犬と遊ぶ

●職場の皆さんからみた久保田さん

「素直でまじめな頼もしい存在です。今後も組合員さんのために頑張ってほしいです。職員一同、期待しています。」

「頼れるJA職員を目指し、奮闘中です！」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家が農家なので、昔からJAには親しみがありました。就職先に悩んでいた時、両親の知り合いでもある当時の営農課長に勧めてもらったことがきっかけで、就職を決めました。

——現在の仕事内容を教えてください。

資材や肥料の受発注や配送、その他様々な業務を担当しています。肥料や農薬、出荷資材等の需要が多い今の時期(4月)は一番忙しいかもしれません。また、組合員の圃場での土壌分析や、作物生育の相談なども受けながら自分自身も日々勉強させて頂いているところです。

——仕事をする中で、大変だった経験を教えてください。

ここ、伊勢崎管内の赤堀地区は特にハウスが多いため、昨年の大雪でも甚大な被害を受けました。その直後は、膨大な数の被害調査や再建ハウスの見積もりなどに追われ大変でした。現在も再建ハウスの資材供給や書類作成など、復興に向けた取り組みはまだまだ

続いています。

——どんな時にやりがいを感じますか？

組合員の方から、「ありがとう」と言われることがやはり何よりも嬉しいですね。入組して10年になりますが、その言葉がなかったら、きっとここまで働き続けていないと思います。

——サッカーがお好きなのですね。

はい。小さい頃からやっていて、現在も友人のチームに参加し体を動かし汗を流しています。また、海外のサッカーチームも好きで、今注目している選手はチェルシーの「クルトワ」というキーパーです。

——休日はどんなことをしていますか？

自宅でゴールデンレトリバーを2匹飼っているのですが、犬の世話をしています。1匹は「世界の名犬牧場」で散歩犬として活躍していた犬なのですが、引退後の里親募集で見つけ、一目惚れして引き取りました。もう10歳以上になります。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

組合員のニーズに的確に応え、今よりもっと頼ってもらえるような職員になることが目標です。また、雪害ハウスの復興に関する業務もまだまだ残っている状況なので、一刻も早い完全復興へ向けて日々取り組んでいきたいです。

——久保田さん、お忙しい中ありがとうございました！



▲一目惚れして引き取った、愛犬マルちゃんと一緒に

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は4月24日に3月の牛乳乳製品統計を公表した。3月生乳生産量は64万1,984tで前年に比べ0.2%減少した。北海道は32万9,369t(前年同月比1.2%増)で生産量の全国シェアは51.3%となった。

都府県の生産量は31万2,615tとなり、前年同月比で1.5%減少した。

■販売及び乳製品情勢

3月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万8,543t(前年同月比0.8%増)、乳製品向けが31万8,505t(〃1.2%減)となった。

飲用牛乳等生産量は28万520kl(〃0.8%増)で前月から5.7ポイント増加し、内牛乳が24万4,038kl(〃2%増)、また乳飲料は10万3,472kl(〃2.9%減)で前月より13ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	626,764	650,316	618,861	618,018	600,000	583,464
	群馬(委託実績)	18,815	19,236	17,948	17,609	16,953	16,478
用途別処理量	本会(委託実績)	6,193	6,293	5,833	5,646	5,411	5,264
	飲用牛乳等向け	318,995	342,141	345,154	337,099	316,617	342,273
	乳製品向け	302,703	303,151	268,658	275,983	278,484	236,281
前年対比	その他向け	5,066	5,024	5,049	4,936	4,899	4,910
	生乳生産量(全国)	96.4	96.9	97.0	97.8	98.8	98.4
	〃(群馬)	96.0	96.4	96.3	96.3	96.5	96.6
	〃(本会)	94.4	94.8	94.7	94.2	95.5	94.0
	飲用牛乳等向け	98.4	98.8	99.6	96.4	96.2	96.8
	乳製品向け	94.2	94.7	93.6	99.4	101.6	100.6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	598,138	583,790	613,257	623,753	572,758	641,984	7,331,103
	16,997	16,740	17,449	17,994	16,708	18,914	211,842
	5,468	5,364	5,559	5,729	5,342	6,095	68,198
	345,738	324,568	306,000	314,487	298,632	318,543	3,910,247
	247,492	254,239	302,239	304,357	269,253	318,505	3,361,345
	4,908	4,983	5,018	4,909	4,873	4,936	59,511
	98.3	99.3	99.5	99.6	100.0	99.8	98.5
	96.6	98.1	97.2	98.3	104.5	99.2	97.7
	94.8	96.4	95.8	97.1	100.9	97.4	95.8
	98.7	99.7	99.6	100.2	98.7	100.8	98.7
	97.7	98.7	99.2	98.8	101.6	98.8	98.2

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(5月予想) 牛肉は弱含み。週末・祝日需要が中心の和牛は、大型連休を終えて消費ムードがやや冷める。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,530円中心	・和牛去勢A3	2,130円中心	・交雑去勢B3	1,600円中心
・和牛去勢A4	2,280円中心	・和牛去勢A2	1,810円中心	・交雑去勢B2	1,550円中心
		・交雑去勢B5	2,090円中心	・乳牛去勢B2	1,000円中心
		・交雑去勢B4	1,790円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計	
和牛去勢A4	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
	27年-28年	2,283												2,283
	前年格差	384												214
和牛去勢A3	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
	27年-28年	2,098												2,098
	前年格差	429												239
和牛去勢A2	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
	27年-28年	2,026												2,026
	前年格差	510												354

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計	
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229	
27年-28年	1,085												1,085	
前年格差	▲206												▲13,144	
全国と畜頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年													0
	前年比	96.5	95.4	100.0	97.7	96.5	102.6	101.0	94.4	96.6	98.5	99.8	100.4	98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 682千円平均 (前月比102%)	(雌) 597千円平均 (前月比103%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,313円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,203円/kg平均
③全農・取引基準価格(乳去)	260~300kg 558円/kg平均 (前月比100%)	

養豚情勢

枝肉相場関係

株群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569												569
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16												0

豚肉価格形成要因

株群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752												41,752
前年比(%)		93.4												8.8

肉豚生産出荷予測（全国） ※3月まで実績／4月以降の出荷予測は

4月10日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	10~12月	1月	2月	3月	1~3月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月
全国出荷予測頭数(千頭)		4,187	1,349	1,282	1,375	4,006	1,360	1,286	1,256	3,903	1,273	1,263	1,317	3,853
前年同月比(%)		91	93	96	100	96	98	98	101	99	95	103	99	99

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、5月の出荷見込頭数は1,286千頭（前年同月比98%）となっている。その後は6月1,256千頭（〃101%）、7月1,273千頭（〃95%）と予想されている。豚肉相場は、小幅に上がる。出荷頭数が前年を下回るため。ただ、輸入量が回復している米国産に押される可能性もある。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

15年4月225円（見込み）101%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227												227
(B-A)		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
全国基金	26-27年	0	0	0	2,088	0	0	0	0	0	2,907	0	0	
補填	27-28年	0												

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：4月の平均単価は227円（前年同月+4円）と前年同月を上回り、平成26年5月～平成27年4月期平均は216円（前年同期比+4円）であった。

■出荷動向：気候が温暖になり産卵量や卵重が増える上、大型連休中に滞留していた分の入荷が重なり、流通量が増える見込み。

■需要動向：小玉サイズを中心にスーパーが特売を予定。外食でも大手が卵を使った料理のキャンペーンを展開するなど引き合いもあるため、需要は底固く、下げ幅は小さい見込み。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	25-26年	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	3,060	2,845	2,688	28,525
実績(t)	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542		24,482
前年比(%)		100.2	107.6	134.8	116.5	85.9	105.7	103.3	76.6	83.3	67.3	89.4		85.8
餌付羽数	25-26年	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	7,766	7,906	8,141	91,929
(千羽)	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
前年比(%)		105.9	106.7	106.5	116.8	102.2	105.5	109.9	98.7	108.6	102.2	98.2	107.2	105.7

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 23年:188円
 (4) 20年:193円 (8) 24年:181円
 (2) 18年:184円 (5) 21年:175円 (9) 25年:207円
 (3) 19年:169円 (6) 22年:194円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

4月9日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの新穀2014/15年度産における単収、期首在庫および供給量はそれぞれ171.0ブッシェル/エーカー、1,232百万ブッシェルおよび15,472百万ブッシェルと前月発表から据置で見通された。需要量については、飼料用向けで50百万ブッシェルずつ下方修正された。期末在庫は前月発表から50百万ブッシェル上方修正され、1,827百万ブッシェル(期末在庫率13.39%)と見通された。

シカゴ定期は、4月の米国農務省需給見通しにより、2014/15年度産の潤沢な在庫率が再確認されたことで、相場変動は落ち着いた展開となっている。米国産地では作付けが既に南部地域より始まっており、今後は日々の天候や作付け進捗に注目が集まる相場展開が見込まれる。

直近の5月限は370セント/ブッシェル半ばで推移している。

②大豆粕

4月9日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年度産は、供給量は、輸入量が5百万ブッシェル増加し、4,091百万ブッシェルとなった。需要量は、種子用

が6百万ブッシェル、その他が14百万ブッシェル増加し、3,721百万ブッシェルとなった。単収について、前回発表から変化はなく47.8ブッシェル/エーカーとなった。結果として、期末在庫は15百万ブッシェル減の370百万ブッシェル(在庫率9.94%)となった。

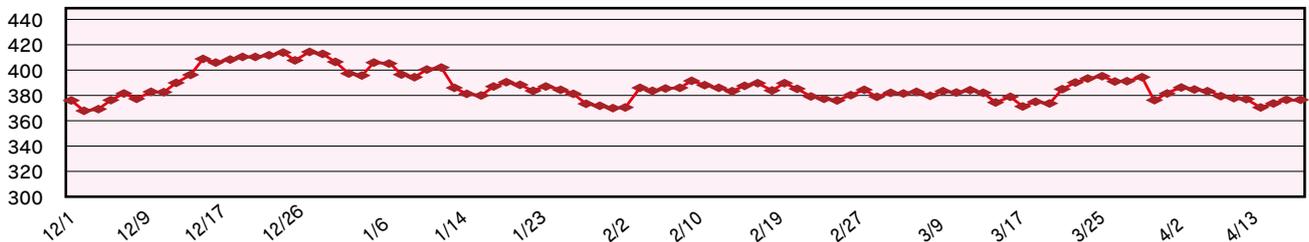
大豆粕のシカゴ定期は、米国作付面積が増加する見通しや、ブラジル農務省の生産高見通しを受けて軟調な傾向であったが、今週に入り、ドル安の進行が下支えとなる中で、ファンド中心にポジション整理の買戻しが集まり、反発傾向にある。現在、5月限は310ドル/ショートトン前後で推移している。今後のシカゴ定期は、収穫期に入った南米の天候、南米における滞船等の物流懸念、および消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれる。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、南米での積込が増加している影響で滞船日数が延びており、フリーな船が減少することによる船腹需給の引き締めから、直近については堅調に推移している。

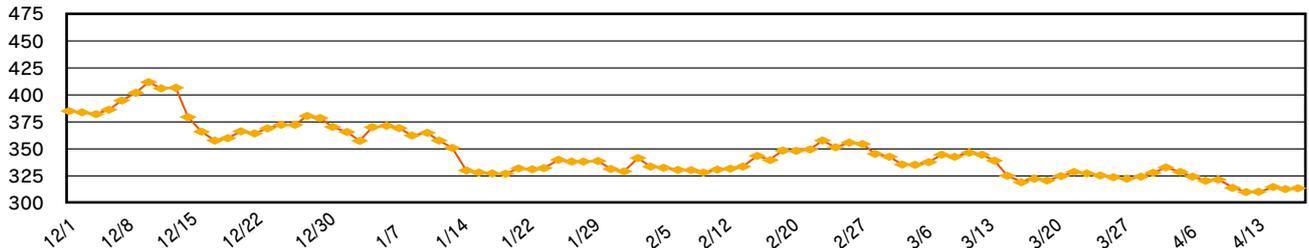
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



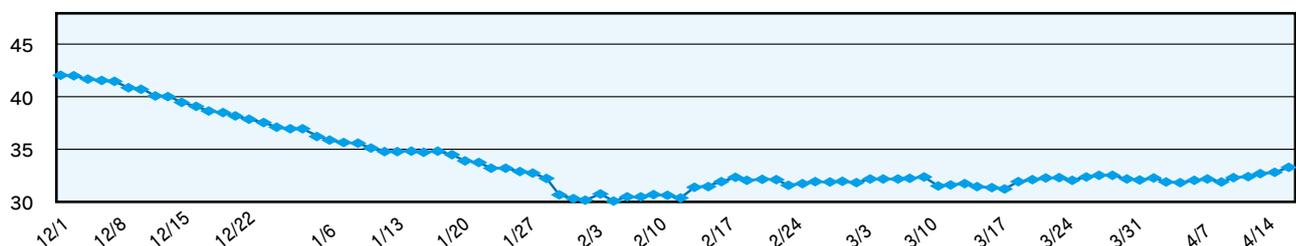
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



この時期におすすめの商品は、「藪塚こだま西瓜」と青梅「白加賀」です。すいかは、水分摂取不足になりがちな季節にぴったりの一品。梅は疲労防止・回復に効果があります。ブランド野菜館では、これら人気商品を豊富に取り揃えております。旬の味で、夏の暑さを元気に乗り越えましょう！皆様のご来場を心よりお待ちしております。

6月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内容
6月5日(金) ～6月8日(月)	夏のガーデニングフェア
6月7日(日)	農薬の基礎知識講習会 【参加費無料・申込み不要】
6月18日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】
6月21日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場 KABOKU 花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

ちさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



オイル焼き鶏肉のピクルスソースかけ

材 料

2人分 (1人分401kcal)

鶏胸肉……………1枚
塩・コショウ……………各少量
ローズマリー……………少量

【ピクルスソース】

ピクルス……………50g
ミニトマト……………5個

A (粒マスタード……………小さじ2
玉ねぎ(みじん切り) ……大さじ2強
パセリ(みじん切り) ……大さじ2
オリーブオイル……………小さじ2
赤ワインビネガー ……大さじ1
塩・コショウ……………各少量
オリーブオイル……………大さじ1
赤ワイン……………大さじ1
ブリーツレタス……………2枚

作り方

- 1 鶏胸肉に塩・コショウをふり、みじん切りにしたローズマリーをまぶす。
- 2 ピクルスソースを作る。ピクルスとミニトマトをみじん切りにし、ボウルに入れ、Aの材料を加えてよく混ぜる。
- 3 フライパンにオリーブオイルを熱し、1の鶏肉を皮を下にして焼き、焦げ目がついたら裏面も焼く。ワインを回し入れ、弱火にして蒸し焼きにする。
- 4 肉が焼けたらそぎ切りにして器に盛り、ピクルスソースをかけブリーツレタスを添える。